

門川町旧庁舎跡地活用に関するサウンディング型市場調査の 対話結果の公表について

令和5年2月1日
門川町長 山室 浩二

1. サウンディング実施の経緯

旧庁舎の建物と跡地活用方法の検討に当たり、民間事業者が持つ様々な知識やノウハウをもとに、さらなる町民サービスの向上やコスト削減等に繋げていくことを目的として実施します。

庁舎跡地の概況等

所在地：宮崎県東臼杵郡門川町本町1丁目1番地

土地面積：7,490㎡（駐車場：4,329㎡）

建物計：3,535㎡（本館：2,663㎡・西別館：872㎡）

2. サウンディングの実施スケジュール

令和4年12月12日：サウンディング実施要領の公表

令和5年1月19日：サウンディングの実施

令和5年2月1日：サウンディング結果概要の公表

3. サウンディング参加者

建築業：1社

4. サウンディング結果の概要

（個別のアイデア別に整理する場合）

提案者の業種	建築業
提案の内容	屋内遊戯施設＋健康増進施設 マルシェ施設 公園（大屋根、イベント広場） 立体駐車場（津波避難ビル、簡易防災備蓄倉庫）
事業方式	DB方式もしくはDBO方式 BT方式もしくはBTO方式
課題と条件	既存庁舎は解体（更地）して事業を進めるのが望ましい いかにハコモノを抑え（イニシャルコスト）、運営費用にお金をまわすか（イベント、広告）
事業効果	子育て世代の町内への呼び込み 生産人口の増加、町外流出の阻止 幼児・若者・高齢者の交流拠点 生きがい 門川町の魅力再発見 立体駐車場（津波避難タワー兼務）の整備による駐車場不足の解消

5. サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディングにより、以下のご提案をいただきました。

- ・門川町の魅力を発信して町外からの流入増
- ・門川町民憩いの場
- ・防災対策

上記の件を実施するにあたり、既存庁舎は解体（更地）して事業を進めるのが望ましいとの意見もいただきました。

今後、サウンディング結果を踏まえて、事業方式や公募条件の整理・検討を進めます。